

国土交通省近畿地方整備局
和歌山河川国道事務所

配布日時 平成18年10月27日(金)
14時00分

資料配布

件名

ねぎ
橿原地区高水敷対策検討会を開催しました。

概要

10月26日(木曜日)、橿原地区高水敷検討会(座長:平田健正 和歌山大学システム工学部長)を開催し、和歌山市の橿原地区(紀の川左岸側、河口から約11km付近)の高水敷における汚染土壌の処理について、昨年度の工事内容と、今年度の工事内容について報告しました。

検討会での意見を踏まえ、今年度までの対策(掘削除去)の完了し、今後2年間のモニタリングを行うことといたしました。

【対策の進め方の概要】

①施工時期:平成18年11月～平成19年3月

②汚染土壌量:約8,600m³

③搬出場所:大阪湾臨海環境整備センター(和歌山基地)

④安全対策:施工期間中は、モニタリング調査を実施します。また、運搬にあたり、シートを被せる等の飛散防止対策を行います。

⑤施工完了後の対策:完了後2年間のモニタリング調査を実施します。

取り扱い

テレビ・ラジオ: _____

新聞: _____

同時配布

和歌山県政記者クラブ
和歌山県地方新聞記者クラブ
和歌山県政放送記者クラブ
和歌山市政記者クラブ
和歌山地方記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所
副 所 長 たなか よしひろ 田中 良宏 (内線 204)
工務第一課長 いかわ たかし 井川 貴史 (内線 311)
(TEL 073-424-2471 (代表))

禰宜地区高水敷対策検討会の結果について

1. 調査検討の経緯について

紀の川の禰宜地区(10.4KP 10.6KP 11.4KP)において、平成13年度に、環境基準値を超過する汚染土壌が検出され、土壌汚染対策法に準じて、調査検討を行い、これまでに4回委員会を実施しました。

第4回委員会(平成17年3月実施)までに、汚染範囲の確定(一部未確定)と土壌汚染の対策について検討がなされました。

昨年度、汚染土を掘削除去するにあたり、「禰宜地区高水敷対策検討会」のなかで、ご意見を頂き、掘削除去を行いました。

2. 禰宜地区高水敷対策検討会について

昨年度に引続き、汚染土を掘削除去工事を行うにあたり、昨年度工事の報告、今年度の工事の対策についての検討を行い、これらの結果をもとに工事にかかります。

3. 開催日時

平成18年10月26日(木)15:00~16:10

4. 場所

近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所 第一・第二会議室
(和歌山県和歌山市砂山南 3-1-15)

5. 出席者

(学識経験者:3名)

江種 伸之(和歌山大学 環境システム学科 助教授)

武田 眞太郎(和歌山県立医科大学 名誉教授)

*平田 健正(和歌山大学 システム工学部長)

(行政機関:3名)

井本 滋之(和歌山市 生活環境部 環境政策課長)

大槻 英治(国土交通省 近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所 所長)(欠席)

田中 良宏(国土交通省 近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所 副所長)(代理)

守吉 通浩(和歌山県 環境生活部 環境政策局 環境管理課長)

(*は、座長。 五十音順、敬称略。)

6. 検討結果の概要

- 和歌山県・和歌山市と連携して、情報の共有化を図ること。
- 運搬及び施工中での飛散等の防止に適切な対策を施すこと。
- 施工前、中、後について、各地点においてモニタリング調査を実施すること。
- 対策工事完了後2年間、水質調査の4項目は継続して実施すること。
- 産業廃棄物の中にアスベストが混入されているかどうかを掘削除去工事中に確認すること。

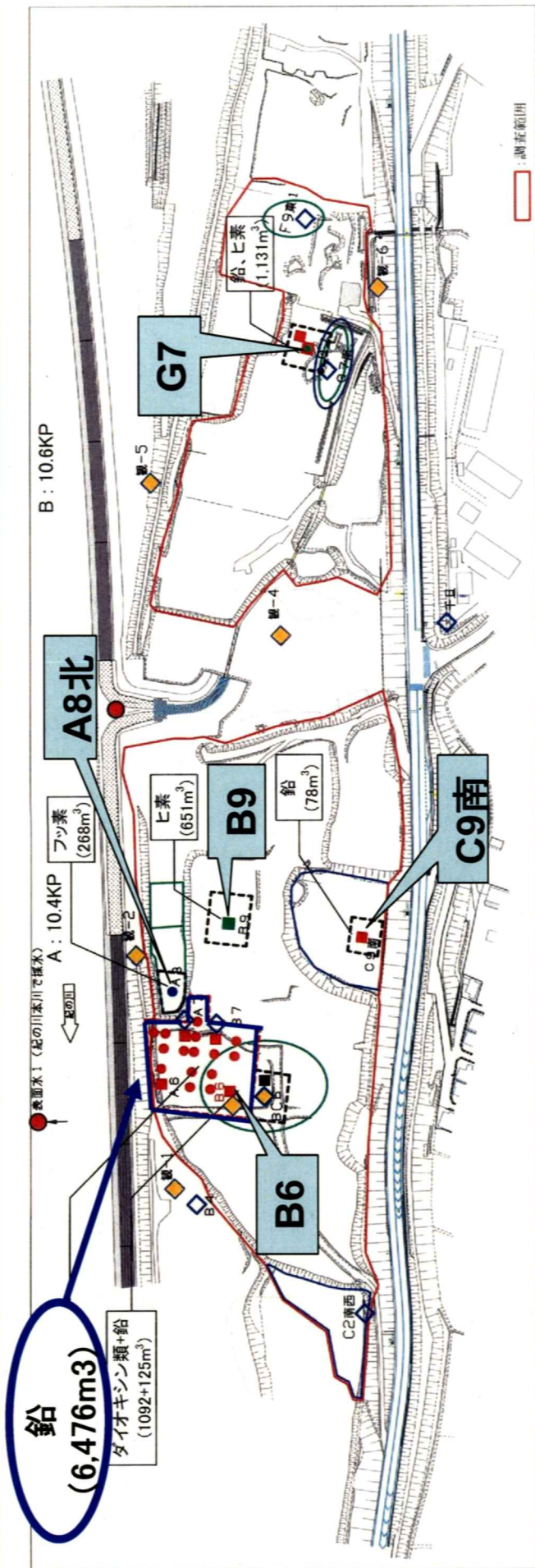
(調査項目及び数量)

- 水質調査(ダイオキシン・鉛・ヒ素・フッ素)(公定法)(4項目)(8地点)
- 水質調査(水温・PH・温度・EC・濁度)(簡易法)(5項目)(4地点)
- 大気調査(浮遊粒子状物質)(公定法)(1項目)(2地点)
- 大気調査(浮遊粉塵)(簡易法)(1項目)(8地点)
- 気象調査(風向、風速、温度)(簡易法)(3項目)(2地点)

7. 対策方法の概要

- ①施工時期:平成18年11月～平成19年3月
- ②汚染土壌量:約8,600m³
- ③搬出場所:大阪湾臨海環境整備センター(和歌山基地)
- ④安全対策:施工期間中は、モニタリング調査を実施します。また、運搬にあたり、シートを被せる等の飛散防止対策を行います。
- ⑤施工完了後の対策:完了後2年間のモニタリング調査を実施します。

掘削範囲について



<汚染が確認された箇所> <土壌汚染対策工事範囲>

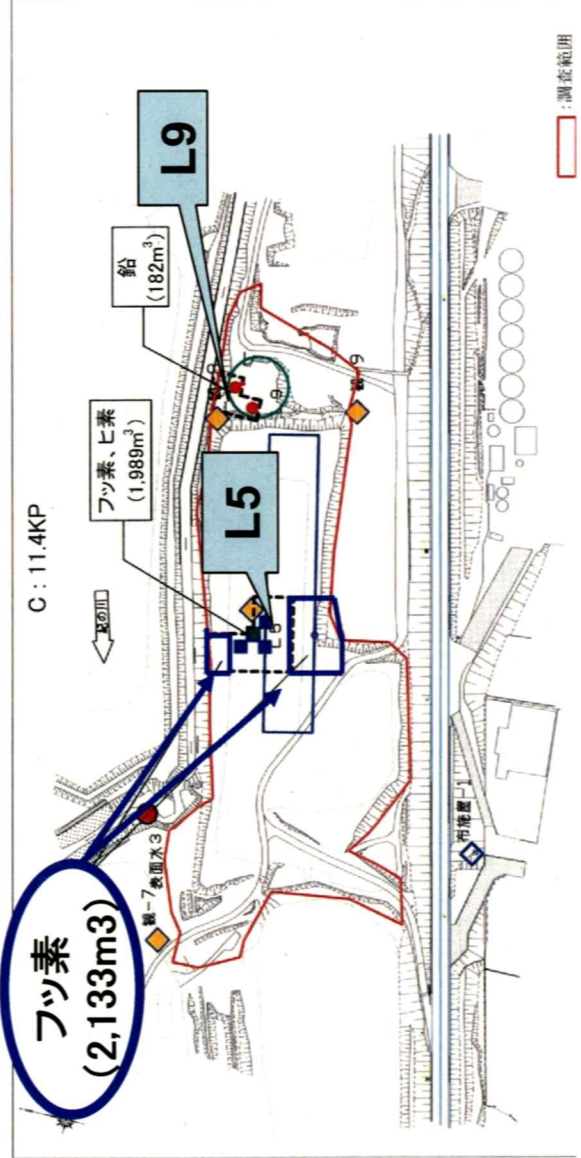
- : 表層土壌
- : 深度方向の土壌
- (dashed) : H17
- (dashed) : H18

<汚染物質>

- (green) : ヒ素 (溶出量)
- (blue) : フッ素 (溶出量)
- (red) : 鉛 (含有量)
- (black) : ダイオキシン (含有量)

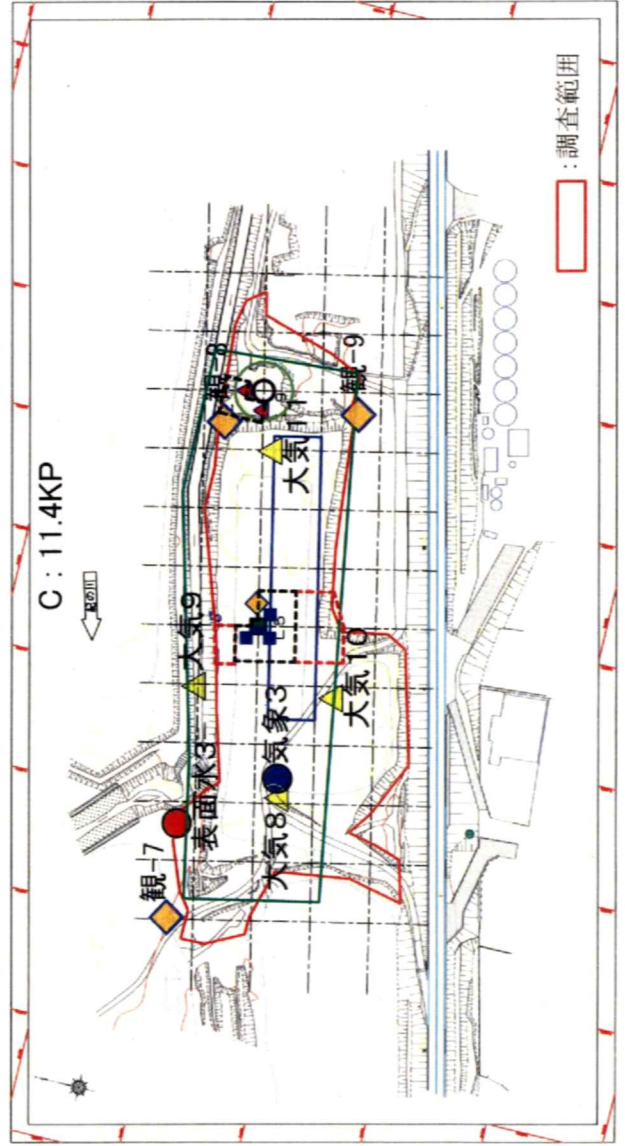
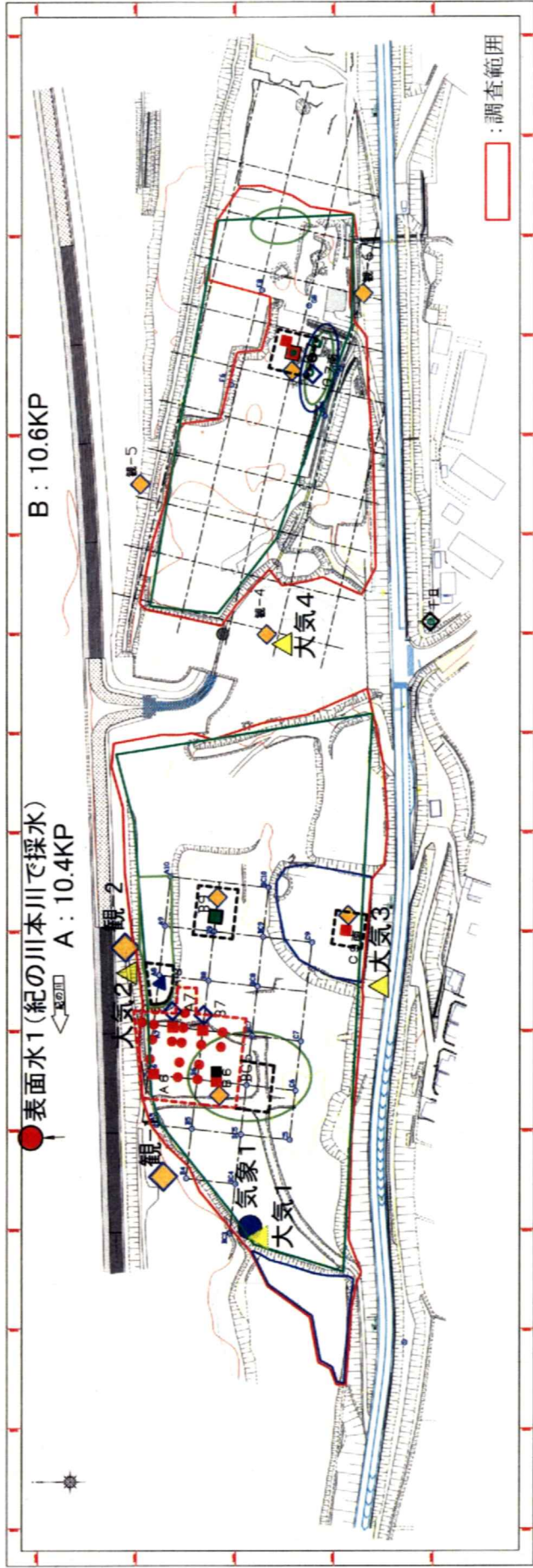
<地下水モニタリング箇所>

- ◇ : 地下水モニタリング用観測井
- ▽ : 観測井



○ : 調査範囲

モニタリング計画平面図(工事前・中・後)



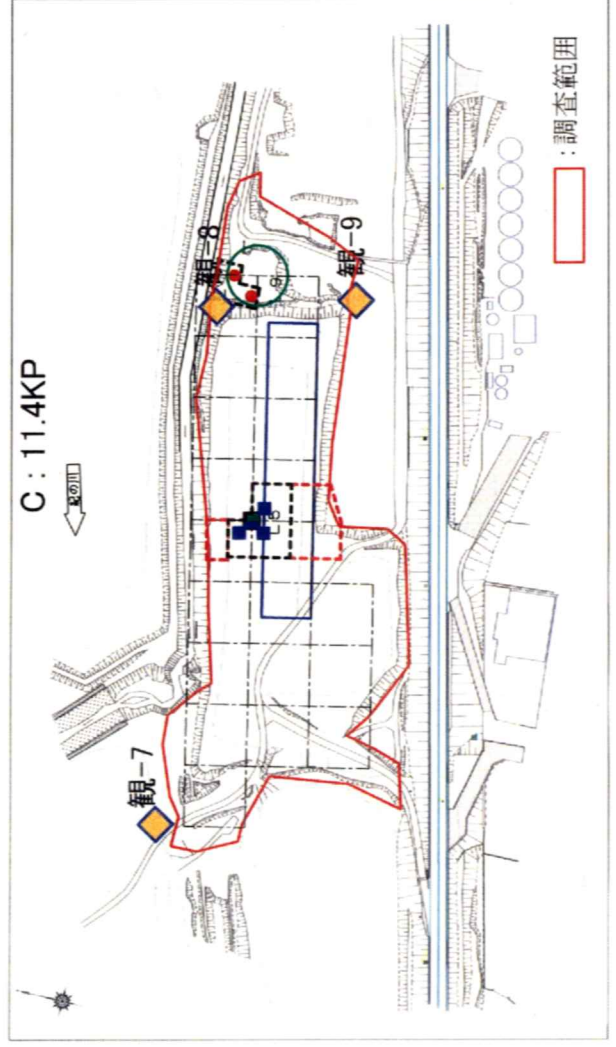
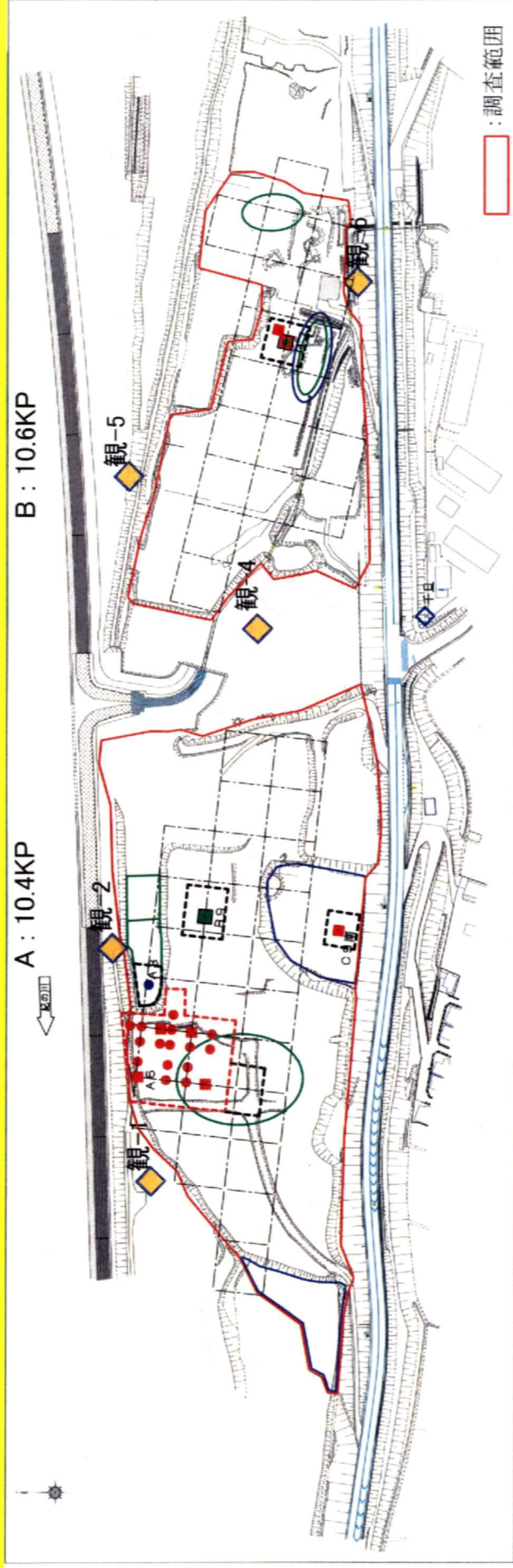
凡例

- : 措置範囲(H17)
- : 措置範囲(H18)
- : モニタリング範囲
- ◇ : モニタリング(地下水)
- △ : モニタリング(大気)
- : モニタリング(表面水)
- : モニタリング(気象)

モニタリング計画表(工事前・中・後)

地点名	水質分析												工事前・中・後					
	工事前(10月秋季)				工事中(12月)				工事後(3月冬季)				大気		気象			
	ダイオキシン	鉛	ヒ素	フツ素	ダイオキシン	鉛	ヒ素	フツ素	ダイオキシン	鉛	ヒ素	フツ素	採取作業	公定法	簡易	風向	風速	温度
地下水調査	観1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1						
	観2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1						
	B6	1	1	1														
地下水調査	表面水1	1				1						1	2回/日					
	観7	1	1	1	1			1	1	1	1	1	2回/日					
	観8	1	1	1	1			1	1	1	1	1						
地下水調査	観9	1	1	1	1			1	1	1	1	1						
	表面水3				1							1	2回/日					
	大気1-4												3	3	2	回/日		
大気調査	大気8-11												3	3				
	気象1																	
	気象3																	1時間毎
合計	3	10	8	6	0	3	0	4	2	9	8	6	6	6				

モニタリング計画平面図(工事後2年間)



C : 11.4KP

<汚染が確認された箇所>

○ : 表層土壌

□ : 深度方向の土壌

注) 太い黒枠は昨年度以前に汚染が確認された箇所

<汚染物質>

● : ヒ素(溶出量)

● : フッ素(溶出量)

● : 鉛(含有量)

<地下水モニタリング箇所>

◇ : 地下水モニタリング用観測井

標点	観測井	地下水分析項目(○が分析を行箇所)			モニタリング時期
		砒素	鉛	フッ素	
10.4	観1	○	○	○	春夏秋冬の年4回
	観2	○	○	○	
	観4	○	○	○	
10.6	観5	○	○	○	春夏秋冬の年4回
	観6	○	○	○	
	観7	○	○	○	
11.4	観8	○	○	○	春夏秋冬の年4回
	観9	○	○	○	